

Discovery

December 2016 vol. 12

HIYOSHI
株式会社日吉



info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/



ランガナタン氏ご家族 来帰

本社: 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店: 〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

海外活動



日吉が国際貢献の一環として1995年の開催以来スポンサーを続ける「Talk Your Way to Japan」

スピーチコンテストの主催者、インドのABK-AOTS同窓会からM.R.ランガナタン氏が来日しました。

インド

インドのABK-AOTS同窓会会長、ランガナタン氏来日

2016.9.14~2016.9.19

M.R.ランガナタン氏は、チェンナイ有数の日本語学校となったABK-AOTS同窓会タミールナドゥセンターの開設をはじめ、親日の輪を広げる活動に従事してきました。日吉との関わりも深く、交流は同会が設立20周年を迎えた1995年に遡ります。ランガナタン氏の娘ハンダ氏は、第1回スピーチコンテスト優勝者と来日以来20年ぶりの来社でした。

滞在中は立命館大学で講演を行い、インドプロジェクトに関わっている学生を対象に、日印の架け橋として氏がこれまでに携わった活動や取り組んできた課題、また日本の若者に対する期待について語りました。



第21回スピーチコンテスト

2016.9.5

「Talk Your Way to Japan」スピーチコンテストは、日印の相互文化交流発展と環境破壊への問題提起を目的に、インドのABK-AOTS同窓会設立20周年記念事業特別企画として開催されました。日吉は共同企画に参加し、以来スポンサーとして継続的に支援しています。

2016年9月に開催されたコンテストには日吉社員が日本語部門の審査員として参加。高校生から主婦までの様々なスピーカーが環境について熱く語りました。優勝者4名は10月8日に来日し、2週間日吉で環境研修と観光を実施しました。



日吉のインドにおける社会貢献活動

1975

インドでABK-AOTS同窓会が設立される

1995

同会設立20周年記念事業に日吉が参画
以来毎年、「スピーチコンテスト」を開催している

2006

日印の懸け橋となる次世代養成とネットワーク拡大をめざし、インドよりインターン受入れ開始

2008

インドにおける環境科学や技術への貢献者を表彰する「日吉環境大賞」を創設

2011

インドの環境保全を目的とした環境サービス会社「日吉インディア」を設立



ABK-AOTS
同窓会

ABK-AOTS同窓会タミールナドゥセンター

1975年ランガナタン氏により設立。以降40年に渡り、主に南インド地域における日本語教育のみならず、日本文化、技術、ビジネスのかけはしの拠点としてさまざまな活動を実施しております。



日本領事が参加するほど現地でも高い評価

インドの学生を対象に、現在では日本語・英語・タミール語の3カ国語でそれぞれコンテストが行われ、毎年300名以上の応募があり、勝者は来日し、2週間にわたって環境保全実習や文化交流を体験します。



スピーチ
コンテスト



インターンシップ



国内5校からインターン受け入れ

日吉寮で新入社員と生活を共にしながらの就業体験をはじめ、多くの学生に業務に関する専門知識や技術を学んでもらいました。

参加校

- 大阪府立大学工業高等専門学校
- 長浜バイオ大学
- 滋賀県立大学
- 徳島大学
- 龍谷大学



経済産業省国際化促進 インターンシップ事業

2012年にスタートした同事業を利用し、留学生の確保と外国人雇用に向けた社内整備を目的として、ハイチから留学生として来日して5年になるジャンピエル・ステーブさんを約2ヵ月にわたって受け入れました。

学会発表・講演



第19回日本水環境学会シンポジウム講演

2016.9.12~2016.9.14

平成26・27年度の環境省事業である「ベトナム水産加工工場排水処理改善」の実施によって得られた成果や課題の発表を行いました。

- 講演会場 秋田県立大学
 演題 ベトナム水産加工工場排水処理改善で得られた成果や課題
 演者名 今荘 博史 (管理部 施設1課)



立命館大学で「キャリアデザイン」の講義

2016.10.12

当社社長村田 弘司が講師として招かれ、経済学部1回生を対象に「中小企業の環境ビジネスの現状」について講義を行い、背景から取り組み、新たな挑戦まで詳しく解説しました。

- 講演会場 立命館大学
 演題 中小企業の環境ビジネスの現状
 演者名 村田 弘司 ((株) 日吉 社長)



琵琶湖△研究センター・ 生物資源研究センター合同シンポジウム 2016.9.21

「滋賀の生物資源」をテーマに、食、農、環境、薬等に関わる企業や生産者を対象として立命館大学で行われたシンポジウムにポスター出展しました。



しがちゅうしんビジネスマッチングフェア

2016.9.8~2016.9.9

日吉ブースでは、業務紹介のDVDをはじめ、当社の歴史やケイラックス®*等のパネル展示を行いました。多くの方が日吉の環境計測・分析技術に興味を示しました。

※ダイオキシン類を簡便・迅速に測定する簡易測定法



社会貢献



秋の交通安全運動で街頭啓発実施 2016.9.21~2016.9.30

各部署の副安全運転管理者、役職者を中心に毎日街頭啓発を実施。全社総勢100名強が本社前を通る県道沿いに整列し、安全運転を呼びかけました。



奥びわスポーツの森「花とみどりのつどい2016」

2016.10.8

花と緑の街づくりをテーマに開催されたイベントで、新入社員3名が花の苗の配布、カレーライスとアイスクリームの販売を行いました。



企業・団体の社会貢献活動セミナー 2016.7.26

日吉から女性社員がシンポジストとして参加。「子どもの貧困」をテーマに、企業人として、また母親や地域人としての立場から意見交換を行いました。答えは一つではなく、家庭・学校・地域・行政・企業による地域協働がその可能性を広げることが示されました。



近江八幡市立 八幡小学校教員のゴミ収集体験 2016.8.1

平成2年より、近江八幡市立八幡小学校4年生担任になられた教員6名がゴミ収集体験に来社。日吉の経営理念の1つである「四方よし」の次世代教育へのつながるきっかけ作りをしています。



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ：大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量：169,874kg/3,000部